様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

２５年　６月２５日

大分県知事　　広　瀬　勝　貞　殿

提出者
住　所　大分県日田市大字日高3040番地
氏　名　株式会社　谷組
代表者　代表取締役　大関　朗
電話番号　０９７３－２２－７１７５

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社　谷　組
事業場の所在地	大分県日田市大字日高３０４０番地
計画期間	

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

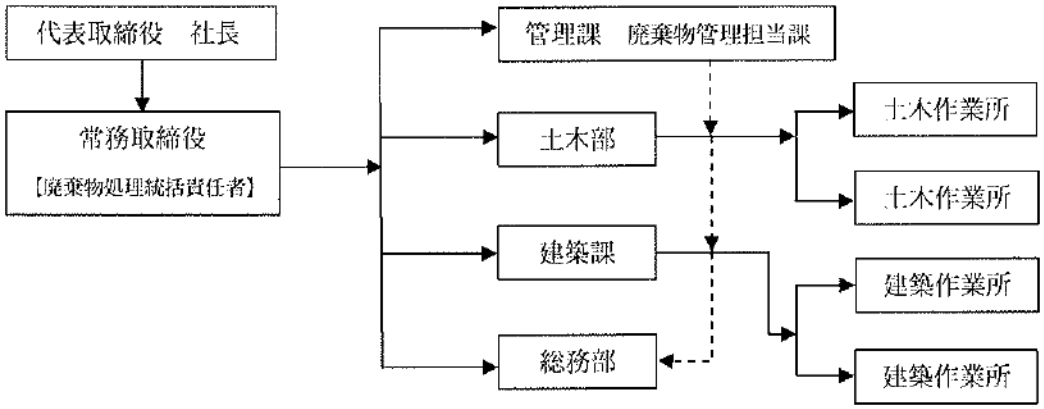
①事業の種類	06：総合工事業
②事業の規模	資本金3800万円　24年度完工高　446，412千円 内17，800千円（解体工事）
③従業員数	24人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	旧建築物解体：がれき類→再生処理業者に委託し再生砕石として再生資源化 木くず類→再生処理業者に委託しチップとしてｻｰﾏﾙﾘｻｲｸﾙ 混合物類→自社処分場又は、最終処分業者に委託して埋立処分 ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ・基礎工事：汚泥→中間処理業者に委託し脱水後、埋立処分又は改良土として再利用。 建設工事：廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類　→再生処理を委託するか自社処分場で埋立処分 がれき類　→リサイクル処理業者に委託又は、自社処分場で最終処分する。

大分県西部保健所　収　25.6.28　受

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（２４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	排　出　量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排　出　量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙のとおり。
②計画	別紙のとおり。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（２４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（２４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①ｒ状	【前年度（２４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①ｒ状	【前年度（２４年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり。		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり。	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組） 別紙のとおり。		
※事務処理欄				

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度　（　24　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
排出量	3,061.83 t	48.87 t	7.59 t	14.99 t	10.33 t	12.72 t	0.66 t	1.95 t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合	石綿含有産業廃棄物					
排出量	69.34 t	7.14 t	0.80 t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

・廃棄物の発生抑制を考慮した工法と資材等の採用
・型枠材等は、清掃や管理養生を行い繰り返し使用する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
排出量	1,500.00 t	30.00 t	5.00 t	5.00 t	5.00 t	5.00 t	0.10 t	1.00 t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合	石綿含有産業廃棄物					
排出量	50.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

・型枠材等は、清掃や管理養生を行い繰り返し使用する。
・廃棄物処理は、リサイクル施設へ排出するとともにリサイクル資材を積極的に使用する。
・廃棄物の分別を確実に行い最終処分量を削減・木材等は、サーマルリサイクルを行う。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・がれき類、廃プラスチック類、金属くず、木くず、ガラス・陶磁器、紙くず、繊維くずはそれぞれに分別し、リサイクル出来る物は
リサイクル施設に処分を委託している。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

・特になし。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度　（　24　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	0.000 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合						
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

・なし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合						
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

・リサイクル施設等の設備があるほうが良いが今のところ計画なし。

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度　（　24　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合						
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

・特になし。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合						
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

・特になし。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度　（　24　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	32.950 t	0.00 t	1.25 t	0.000 t	0.310 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合						
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.57 t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

・自社の直接工事分のリサイクル出来ないものについては、自社の処分場に排出している。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	300.00 t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	汚泥							
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の計画）

・自社請負工事分についても、自社の処分場で処分するようにしたい。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度　（　24　年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
全処理委託量	3,028.88 t	48.87 t	6.34 t	14.99 t	10.02 t	12.72 t	0.66 t	1.95 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	3,028.88 t	48.87 t	t	t	t	t	t	1.95 t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	汚泥	混合						
全処理委託量	69.34 t	6.57 t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	69.34 t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

・可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。

①計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	金属くず	ガラス・陶磁器	廃プラスチック	廃石膏ボード	紙くず	繊維くず
全処理委託量	1,500.00 t	30.00 t	t	t	t	t	t	1.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

産業廃棄物の種類	汚泥
全処理委託量	80.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	t
再生利用業者への処理委託量	t
認定熱回収業者への処理委託料	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

（今後実施する予定の取組）

※事務処理欄